

死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和5年
12月号

令和5年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
11月末速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）における令和5年11月末の休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は図表のとおり、**死亡者数は1人、休業4日以上之死傷者数は208人**です。

死傷災害は全業種合計では、**15人（7.8%）の大幅増**となっています。

業種別では建設業・林業・旅館業が、事故の型では墜落・転落災害、交通事故が大幅に増加しています。

令和5年の労働災害は昨年に比べ増加する可能性が高く、**過去10年で最悪となる令和3年の247件を超える可能性**もあります。

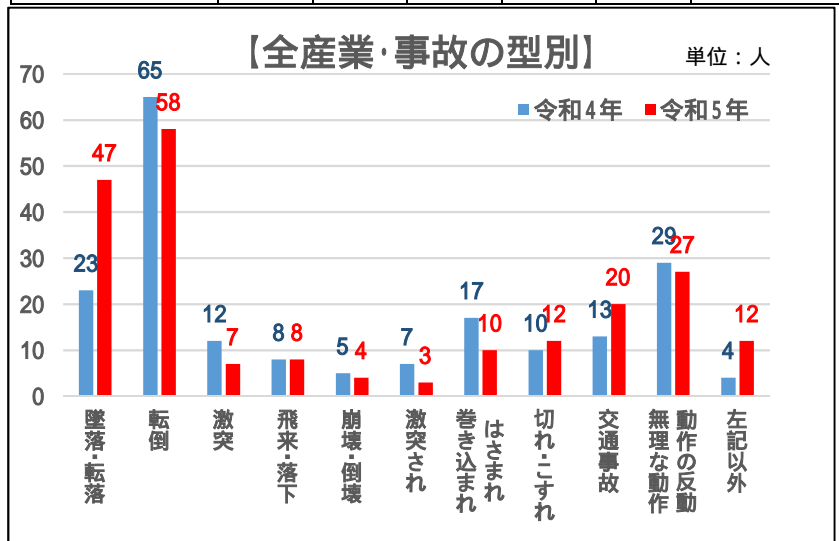
新型コロナウイルスの影響が薄れ経済活動が活発になっていますが、その中で労働災害の増加を食い止めることが求められています。

令和6年の年間安全衛生管理計画を作成いただき、目標を定め、そのために必要な災害防止策を講じていただくようよろしくお願いいたします。

【令和5年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

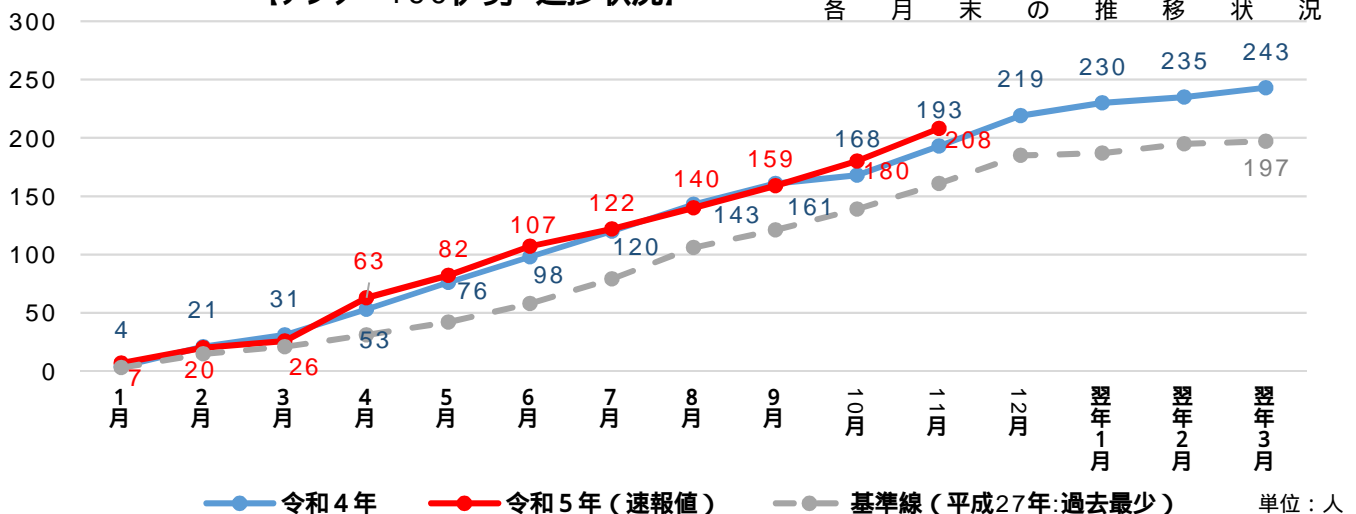
	令和4年		令和5年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種		193	1	208	+15	+7.8%
製造業		34		34	±0	±0.0%
建設業		21	1	31	+10	+47.6%
道路貨物運送業		11		8	-3	-27.3%
林業		3		6	+3	+100.0%
小売業		35		36	+1	+2.9%
社会福祉施設		30		21	-9	-30.0%
旅館業		14		20	+6	+42.9%

【全産業・事故の型別】



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況



令和5年度 年末年始無災害運動

令和5年12月1日～令和6年1月15日

「健康と安全で 幸せつなぐ年末年始」

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取り組み促進を図る趣旨で、昭和46年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する運動で、本年度で53回目を迎えます。

年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増します。そのため各事業場においては、非定常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、安全衛生保護具の点検の実施、感染症予防を含めた労働者の健康状態の確認などに全員で取り組むことが一層重要となります。

皆で力を合わせて無事に一年を締めくくり、明るい新年を迎えられるよう、取り組みにご協力をお願いいたします。

年間安全衛生管理計画の策定をお願いします

労働災害を防止するには、漫然と対策を行うのではなく、自社の業務内容に応じ、リスクの高い災害類型を見つけ出し、効果的に対策を実施する必要があります（リスクアセスメント）。

また、このような対策を効果的に実施するには、1年間などの期間を区切り、昨年の実績や実施中の対策・積み残した事項などを踏まえ、今年実施すべき事項をあらかじめ計画しておくことが重要です（年間安全衛生管理計画）。

三重労働局では、大きく5つの区分に分けた年間安全衛生管理計画の様式を公開しており、一定業種・一定規模等の事業場には策定・提出を依頼しています。

各事業主に置かれましては、趣旨をご理解いただき、策定・提出いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、一部業種の小規模事業場においては、計画の策定や対策の実施に当たり、中災防サポート事業（無料）を利用することが可能ですので、ご活用ください。

（年間安全衛生管理計画様式）

https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei.html#4_9

（中災防サポート事業 HP）

<https://www.jisha.or.jp/chusho/support.html>